



ふまミチ 伝言板

発行者：公明党豊島区議団一南池袋2-45-1 区役所内公明控室

2016-1
VOL.5

初の一般質問！



豊島区議会第四回定例会の11月25日。ふまミチは公明区議団を代表して「子どもたちの未来のために」とのテーマで初の一般質問を行い、高野区長・三田教育長に対して、区民の皆様の生の声を届け、要望しました。

質問項目は、

- 一、子育て支援について
- 一、受動喫煙防止対策について
- 一、特別支援教育について

これらの質問は、区民の皆様から寄せられた声を中心に、子ども達が安心して育つことができる環境づくりを願って行いました。

今回の伝言板は私の一般質問の発言を中心にまとめました。ご意見ご要望お気軽にお寄せ下さい。

***質問の詳細は裏面を御覧下さい**

【テーマ】子どもたちの未来のために！



**児童虐待防止
受動喫煙防止
対策が大きく前進！**



ふまミチの一般質問要旨

特別支援教育について



通級と支援教室の選択可能！

問 支援が必要なお子さんの、情緒障害等通級指導学級又は特別支援教室を選択できる柔軟な対応を要望する。

答 保護者への意向調査を踏まえ、児童生徒の発達特性に寄り添い、選択が可能となるよう柔軟に対応し、丁寧な説明に努める。

在籍校での指導を可能に

問 特別支援教室に変わることによって、在籍校で教員による巡回指導が受けられるようになる。進捗状況は？

答 特別支援教室は、全校にすでに整備している。教室にパネルを設置したり補助教材の整備をしたり具体的に受け入れ体制を整えていく。



自閉・情緒固定級の設置

問 自閉症・情緒障害特別支援学級の固定学級設置について

答 発達特性を踏まえた施設・設備の在り方というハードと発達障がいに対する診断力やアセスメント力を高めるソフトの側面から検討・研究し重層的な支援体制を整えていくことが必要。今後固定学級設置のプロジェクトを立ち上げ29年度からのスタートに対応する。

ふまミチ TOPICS・ミニ実績

警察によるパトロール強化で不審者が激減しました



ふまミチは、長崎4丁目付近で不審者が出没しているとの住民からの不安の相談を受けました。学校や地域の方に見回りをお願いしたり、長橋都議と連携を取り、警察にもパトロールの強化を依頼してもらったところ、最近は見かけなくなったとのこと。高齢者や子どもを取り巻く環境の悪化を大変に危惧をいたしております。学校、地域、警察のみなさまにご協力をいただき、事件や事故がおこらないよう安心・安全につとめてまいります。

＜地域の課題をお気軽にお寄せください＞



ふまミチの一般質問要旨

平成27年11月25日登壇



子育て支援について

受動喫煙防止対策について

児童虐待防止を図れ！



問 子どもの虐待死亡事故が報道されている。更なる対策が必要。区長の認識は。

答 児童虐待を防止するための主な課題としては、出産からの継続的な見守りと支援を行うこと、母親の育児負担の軽減を図ること、家庭の養育力を向上させること、孤立化が進む家庭への支援を行うこと、以上4点の課題について、強い意識をもって今後も対策を強化していく。

あなたの連絡・相談が子どもを守るとともに、子育てに悩む保護者を支援するための大きな一歩となります。

虐待かもと思ったら すぐにお電話をください。

児童相談所 全国共通 **ダイヤル 189**

お住まいの地域の児童相談所につながります。※一部の電話番号からはつながりません。※通話料がかかります。

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。



No smoking

路上喫煙禁止の啓発を！

問 路上喫煙禁止の啓発において現在よりも積極的な取り組みを望む。

答 電柱看板など、目に見える路上喫煙禁止の取り組みを、来年度の実施に向け、積極的に検討する。



里親制度の普及・充実

問 里親制度の推進を要望。区として積極的に取り組み子どもの支援を要望すべき。

答 里親制度は、社会的擁護として、極めて重要な役割と考える。この制度を多くの方に知っていただくことが、里親制度の普及の第一歩であり、今後も養育家庭体験発表会等の取り組みを継続していく。

里親になりませんか？

あなたを待っている子どもたちがいます。

里親とは、さまざまな事情によって家庭で暮らせなくなった子どもたちを、自分の家庭に迎え入れて適切な愛情と理解を持って養育していただく方のことです。

里親には、養育費として、通勤手当、生活費、学校給食費、子どもの医療費などが支給されます。

子どもの受動喫煙対策強化を！

問 子どもの受動喫煙による健康被害対策について

答 妊婦や家族への継続的な保健指導を実施し、小中学校における「がんに関する教育」においても、子どもたちに喫煙とがんの関係を教えるだけでなく、子どもを通じた家庭との情報交換などによって、喫煙の有害性に関する意識啓発も図っていく。今後とも、子どもの健康を守るため、そして、広く区民の健康を守るため、受動喫煙防止対策を進める。

子どもの貧困対策

問 社会問題化している「子どもの貧困」の対策。実態把握、更なる取り組みを要望する。

答 各家庭や子どもがどのような困難に直面しているかを把握することは、極めて重要である。他区の調査結果も詳細に分析したうえで、調査方法も検証し、5年ごとの子どもプラン改訂時に実施している子ども・子育てニーズ調査を視野に入れながら、貧困状態にある子どもの状況をよりきめ細かく把握するための方策を検討していく。



児童遊園の禁煙標識設置

問 児童遊園への禁煙標識の設置及び小さな公園の灰皿撤去と禁煙表示。

答 平成19年から児童遊園は禁煙、公園は分煙である。禁煙になっている公園で携帯灰皿での喫煙がみられることから禁煙表示の徹底を図ると同時に小規模な面積1000平方メートル未満の公園についても、受動喫煙の状況を調査したうえで、分煙の判断をしていく。